

<p>【人材の養成に関する目的】</p> <p>■文学部 文化現象の総合的理解及びその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育及び専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力及び多面的な分析能力の伸長を図ること、並びに言葉を通して形づくられた人間、歴史及び社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力及び自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自立的に展開するための基礎を構築することを目的とする。</p>		<p>■現代社会学科 1 社会学及びメディア研究の理論及び実証的研究法を通して社会を理解するための基本的枠組みを修得させるとともに、少人数による演習を通じて、自らの課題を設定できる「問題発見力」を養い、過去から現在に至る資料を調査できる「リサーチ力」を高め、街に出ることで「社会実践」から学び、他者に対して説得的に表現する「アカデミックスキル」を身につける。 2 1に規定する教育を通じて、現代社会の抱える諸問題をその背景にまで遡って多角的に検討できる思考力ならびに状況に的確に対応できる判断力及び行動力を兼ね備えた人材を養成する。</p>	
<p>【ディプロマ・ポリシー（DP）】 文学部現代社会学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士（文学）の学位を授与します。</p>			
<p>【専門分野の知識・技能】 （DP 1-1）現代社会学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 （DP 1-2）社会学及びメディア研究の理論及び実証的研究法を通して、現代社会の抱える諸問題を、その背景にまで遡って多角的に検討できる思考力、ならびに、状況に的確に対応できる判断力・行動力を修得している。 （DP 1-3）社会学の理論及び実証的研究法を、「社会学基礎」・「社会学発展」の科目群を通じて体系的に学ぶことで、現代社会を理解するための基本的枠組みを修得している。 （DP 1-4）メディア研究の理論及び実証的研究法を、「メディア研究基礎」・「メディア研究発展」の科目群を通じて体系的に学ぶことで、現代社会を理解するための基本的枠組みを修得している。</p>		<p>【課題の発見と解決】（情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考） （DP 3-1）課題の本質を発見するために必要な情報（文献、統計等を含む）を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 （DP 3-2）書籍、雑誌、新聞、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要に応じて必要な情報を入手することができる。 （DP 3-3）社会学及びメディア研究の理論及び実証的研究法を通して、社会を理解するための基本的枠組みを修得することで、現代社会が抱える諸問題を、その背景にまで遡って多角的に検討できる思考力、ならびに、状況に的確に対応できる判断力・行動力を兼ね備えている。また、各年次に配当された必修の演習を通じて、批判的・論理的思考力、課題探究・問題解決能力を身につけている。</p>	
<p>【教養の修得】（広い視野での思考・判断） （DP 2-1）人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 （DP 2-2）現代社会が抱える諸問題に関し、学科教育の基盤をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じてさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。</p>		<p>【表現力、発信力】 （DP 4-1）自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。 （DP 4-2）現代社会が抱える諸問題に関し、各年次に配当された必修の演習及び卒業論文の作成を通じて、みずからの考えを的確に表現・発信できるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身につけている。</p>	
		<p>【多様な人々との協働】（コミュニケーション＋協調性＋チームワーク） （DP 5-1）多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>	
		<p>【自発性、積極性】 （DP 6-1）学びで獲得した知識・技能を、様々な活動（正課・正課外や学内・学外を問わず）において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>	

※ 全学共通科目については、「全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
			第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム

1 専門科目

必修科目	科目	単位数	学修・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
				第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
必修科目	必修専門	1-1	現代社会の諸問題や社会学、メディアに関する学修を通じて、基礎的な知識と研究方法を身につける。	現代社会入門②	社会学入門②	社会学史②	メディア史入門②				
	演習科目	1-1 3-3 3-3 4-1 4-2 5-1	ディプロマ・ポリシー DP1（専門分野の知識・技能）、DP3（課題の発見と解決）、DP4（表現力、発信力）、DP5（多様な人びととの協働）に掲げる能力を身につける。	現代社会研究の基礎Ⅰ②	現代社会研究の基礎Ⅱ②	現代社会研究の方法Ⅰ②	現代社会研究の方法Ⅱ②	演習Ⅰ②	演習Ⅱ②	演習Ⅲ②	演習Ⅳ②
選択科目	社会学	1-1 1-3	現代の家族、都市、地域社会、環境、福祉、階層、ジェンダー、スポーツ、教育など、現代社会の様々な問題とその仕組みを学修し、社会学的な手法を駆使した分析および研究方法を身につける。	【基礎】家族社会学② 都市社会学② 社会心理学② 歴史と社会② ジェンダーの社会学② 労働社会学② アイデンティティの社会学② コミュニティの社会学② 生活文化史② 教育社会学② 文化社会学②		【発展】社会階層論② ライフコースの社会学② ボランティア・NPOの社会学② スポーツ社会学② 科学技術の社会学② グローバリゼーションの社会学②					
	調査科目	1-1 1-2 3-1	社会調査の基礎となる知識と技術の修得を通じて、データ収集の実践的な能力を身につけるとともに、調査データの分析によって課題の的確な解決へと向かう能力を身につける。	社会調査入門②	社会調査の方法②	量的調査入門（統計学）②	量的調査法（統計分析）②	質的調査入門（資料分析）②	質的調査法（インタビュー）②	メディア調査②	
	メディア研究	1-1 1-4	現代の新聞、テレビ、広告などメディアのあり方について学修することを通じて、個人と社会をつなぐ関係の理解や情報化社会への対応力を解明するメディア研究の手法を身につける。	【基礎】情報社会学② メディア文化論② ネットワーク社会学② メディア産業論② メディア制度史② マス・コミュニケーション論② メディア・リテラシー論② ジャーナリズム論②		【発展】出版メディア論② 映像メディア論② 広告論② デジタル・メディア論② 情報デザイン論② メディアの理論② サブカルチャー論② メディアとアート②					

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
実践科目	1-1 3-1 4-1 4-2 5-1 6-1	社会学およびメディア研究について学修した理論および実証的研究法を、実践を通して検証する。
現代社会研究	1-1 2-1 3-1	現代社会が抱えている諸課題について総合的かつ批判的に考察し、またその解決に向けた実践的方策を構想する力を身につける。
広域基礎科目	2-1 2-2	教員免許状（中学社会、高校地理歴史・公民）の取得のために必要な地理、歴史、政治学の概略を学ぶ。

1年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム

2年次 配当科目・単位数	
第3ターム	第4ターム

3年次 配当科目・単位数	
第5ターム	第6ターム

4年次 配当科目・単位数	
第7ターム	第8ターム

メディア・リテラシー演習A②	メディア・リテラシー演習B②	コミュニティ演習A②	コミュニティ演習B②	社会調査演習Ⅰ②	社会調査演習Ⅱ②
----------------	----------------	------------	------------	----------	----------

現代社会研究A②	現代社会研究B②	現代社会研究C②	現代社会研究D②	現代社会研究E②	現代社会研究F②
----------	----------	----------	----------	----------	----------

日本史概論Ⅰ②	日本史概論Ⅱ②	世界史概論Ⅰ②	世界史概論Ⅱ②	人文地理学②	自然地理学②	地誌学②	現代の政治学②
---------	---------	---------	---------	--------	--------	------	---------

2 自由設計科目（選択科目）

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
トピック・セミナー	2-1	テーマに沿ったいくつかのトピックを取り上げた学修を通じて、専門への基盤となる幅広い素養を身につける。
ことばの世界	2-1	古典語の学修を通じて、語学力を磨き、異文化に対する理解を深める。
東洋文庫連携科目	2-1	東洋文庫との連携による講座を通じて、歴史・文化に対する理解を深める。
芸術文化行政コース開設科目	5-1 6-1	行政による芸術文化支援について学修し、芸術文化振興の担い手として必要とされる知識と能力を身につける。
日本語教員養成コース開設科目	4-1 6-1	外国人に対して日本語を教授するために必要な言語としての日本語をめぐり知識および日本語教授法の実践について学修する。
文学部総合講義	2-1	外部機関との連携等による講座を通じて、幅広い教養を身につける。

トピック・セミナーA②	トピック・セミナーB②	トピック・セミナーC②	トピック・セミナーD②	トピック・セミナーE②	トピック・セミナーF②
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

ラテン語②	古典ギリシア語②
-------	----------

展示から探る歴史・文化②

文化政策学②	アート・アドミニストレーション②	地方自治体の文化行政②	文化政策と法②	舞踊論②	アート・ジャーナリズム②	上演芸術論②	芸術文化行政特講A②	芸術文化行政特講B②	写真論②
制作実習A②	制作実習B②	制作実習C②	制作実習D②	制作実習E②	制作実習F②				

日本語教育概論②	日本語教育方法論②	日本語教育理解と実践②	日本語教育事情②	言語学講義（言語と社会）②	日本語の学習と習得②	言語の構造②	対照言語学②
日本語教授法②	日本語教育演習②	日本語教育実習①					

文学部総合講義A②	文学部総合講義B②	文学部総合講義C②	文学部総合講義D②	文学部総合講義E②	文学部総合講義F②
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
EAGLE科目	2-1	高い英語力を備え国際的な活動に関心のある学生を対象とした全学的なグローバル教育プログラム（EAGLE）の科目であり、グローバル市民として国際性と学際性の高い知見と教養、ビジネスや実社会で求められる主体性及び実践的なスキルを養う。
全学共通科目超過単位	-	各科目グループ、全学共通科目の規定の単位数を超えて修得した単位、他学科科目、他学部科目の履修、他大学との単位互換制度で修得した単位を卒業のための単位として認めるための区分であり、学生自身の興味や将来の目標などに応じて、長期的な履修計画を立てながら有効に活用することができる。
他学科・他学部・他大学	-	

International Business②	Japanese Economy②	Current Topics in Business and Economics②
International Relations②	Regional Studies②	Current Topics in Global Issues②
Japanese Contemporary Issues②	Japanese Traditional Culture②	Current Topics in World Affairs②

（全学共通科目の所定の単位を超過して修得した単位：6単位まで卒業に必要な単位に算入。）

（他学科の専門科目、他学部の専門科目および単位互換制度による他大学開講科目で修得した単位）